

単元指導計画

科目名	情報と科学			実施年度	令和5年度
単元番号	3	単元名	情報システムが支える社会	時間数	20
				担当者名	

□単元の目標

- ・情報社会の中のさまざまなシステムについて理解しよう
- ・安全な情報社会にするための社会的・法的対策について学び、考えよう

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・身の回りの情報システムやサービスについて関心を持っている。	・情報化によって人間や社会に与えた影響について考えることができる。 ・ユーザビリティの観点からだれもが使いやすい情報システムなどについて考えることができる	・自分が普段どのようにインターネットを利用しているか振り返り、良い点、悪い点などを見つけ改善できる。 ・Webアクセシビリティの観点から見やすい色の組み合わせを考え、グラフを作成できる。	・情報社会における法律について目的と基本的内容を理解している。 ・人々が持つ権利について理解している。

□学習活動における具体の評価規準と評価方法(※下側のセルには評価方法を記述し、右側は記述しない)

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 身の回りの情報システムやサービスに関心を持ち、それぞれの活用機会について交流する 行動観察	① 情報システムがどのような仕組みで機能しているか、それぞれのシステムごとに考えている。 行動観察	① 普段の自分のインターネット利用の仕方を振り返り、良い点、悪い点などを見つけ、改善していくことができる。 行動観察、ワークシート	① 情報社会においてトラブルに巻き込まれないための対策や対応について理解している。 行動観察
② 情報システムやサービスを利用に対して関心を持ち、利便性やリスクなどについて考えている。 行動観察	② 情報化が進んだことにより人間や社会に与えた良い影響、悪い影響について考えている。 行動観察	② Webアクセシビリティの観点から見やすい色の組み合わせについて理解し、グラフの作成ができる。 演習問題	② 情報社会における法律について、目的と内容を理解している。 ワークシート
③	③ ユーザビリティなどの観点から誰もが使いやすい情報提供のために配慮すべきことなどについて考えている。 行動観察	③ 他人の権利を侵害しないよう、適切に著作物を扱うことができる。 演習問題、行動観察	③ 人々が持つ知的財産権や著作権などについて理解している。 ワークシート
④	④	④	④

□指導と評価の計画

授業番号	単元時間数	主題	学習目標と主な学習活動	具体的評価規準との対応				備考
				関	思	技	知	
1	5	情報社会の中のさまざまなサービス	情報システムやサービスについてどのようなものがあるのかを考え、それぞれのシステムの仕組みについて理解する。情報システムの信頼性やサービス利用の上でのリスクなどについて考える。	① ②	①			
2	3	人間の生活や社会全体への影響	情報化が進んだことにより、人間や社会に与えた影響について考え、情報化による「光と影」の部分について学習し理解する。普段のインターネット利用などについて振り返り、どのようなことに気を付けて利用しなければならないのかを考える		②	①		
3	2	使いやすく安全な機器	誰もが使いやすい情報機器であるために工夫された点や配慮された点について学習する。わかりやすい情報を提供するための考え方について理解し、実際に演習問題を使い、わかりやすいグラフの作成を行い交流する。		③	②		
4	5	情報化社会における法律	ネットワークを利用した犯罪や迷惑行為について実際に事例を提示し、被害にあわないための対策や対応について学習する。情報社会の安全のために整備された法律について、目的と内容などについて理解する。				① ②	
5	5	技術・文化の発展と知的財産権	人々の持つ知的財産権について正しく理解し、権利を尊重し侵害しないための利用について学ぶ。情報社会において権利の問題が浮き彫りになった理由について考える。			③	③	
計	20							